



抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。**対策をきっちり守らなくても健康に害を及ぼすようなことはまずありません。**しかし、ご自宅では、できる範囲で結構です。以下の対策をお取りいただくことをお勧めします。

対策を取る期間について

- ◆対策を取ることが望ましい期間は注射・内服抗がん剤**投与中(内服中)および投与2日後**までです。3日目以降は特別な対策は必要ありません。
- ◆下記の抗がん薬を投与されている場合は**投与中および投与7日後**までです。
ファルモルビシン、シスプラチン、ゲムシタビン、ドセタキセル、ドキソルビシン、エンドキサン、オンコビン、エトポシド、ブレオ

日常生活の注意

- ◆男性の方も、尿の飛び散りを防ぐため便座に腰掛けて、排尿してください。
- ◆尿がこぼれた場合は、トイレトペーパーできれいにふきとってトイレに流してください。
- ◆ご自宅では、使用後のトイレは、飛び散りを防ぐためトイレのふたをして水を流してください。このとき水を2回流したほうがよいでしょう。
- ◆出血した時はトイレトペーパーできれいにふきとりトイレに流してください。
- ◆トイレの後や血液が手に付いた場合は石鹼で手をよく洗ってください。

排泄物・嘔吐物が付着した寝具・衣類等の取り扱い

- ◆排泄物・嘔吐物で汚れた洗濯物は、汚物を取り除き単独で予洗いした上で、通常の洗濯を行ってください。洗濯には洗濯機を使用していただくかまいません。
- ◆通常の洗濯物(上記のような汚れがないもの)はご家族の物と一緒に洗濯していただくかまいません。
- ◆汗は通常の量では対策はいりませんが、大量の汗をかいている場合は、上記の対策をお取りいただくほうが良いでしょう。

ストーマ(人工肛門)や、オムツをされている場合の注意点

- ◆ストーマ用品や、オムツなどの処理は手袋を着用して行ってください。二重にしたビニール袋に入れ、密閉して一般ごみとして廃棄してください。その後石鹼と流水で十分に手を洗いましょう。
- ◆排泄物が皮膚についたら、水道水で十分に洗い流し、さらに石鹼で洗いましょう。
- ◆排泄物、嘔吐物の付着部位に異常が現われたらすぐ受診しましょう。

